

2001年7月3日

## 池田毅教授の批判に答える

岩本 康志

1 .

池田毅教授は、池田(2001)において、岩本他(1999)で筆者が執筆を担当した部分に対して、

「次のようなケインズ政策への批判はややミスリーディングであることがわかる。岩本・他(1999,第2章)では、実際の公共事業が、建設業といった特定の部門に集中することを指摘して次のように述べている。

「[標準的なマクロ・モデルが想定する]一部門モデルでは、超過供給の部門の資源が公共事業にうつらう部門に苦もなく移動できるということが、暗黙の前提となっている。これはいわば、土砂降りの就職市場に直面した女子大生がトンネルを掘りに工事現場に出かけるモデルである。部門間移動が困難もしくは可能であっても費用が高つく場合には、このような前提にもとづいた政策は、超過供給にある部門の問題を十分に解決することはできない。」(岩本他,1999,第2章,81頁)

確かに、実際の公共支出が特定の部門に偏っていることは現実問題の一面ではあるが、上述したような「失業部門」の存在を考慮すれば、ケインズ経済学的な立場からは、こうした主張を額面通りに受け入れることもできない。なぜなら、そうした状態で公共支出を止めてしまえば、単に「工事現場」の労働者が「女子大生」のいる「失業部門」に加わるだけだからである。(中略)ケインジアンの一門モデルの想定は、経済全体の「マクロ」でみて「総需要」が不足していることを表すために用いられているのである。

一方で、「土砂降りの就職市場に直面した女子大生」の問題の解決を、新古典派的な「市場」メカニズムに委ねるとすれば、(中略)この労働市場における労働供給量は、必ずや以前より減少することになるであろう。したがって、こうした減少が経済全体に広まり、マクロ経済自体が不必要な「縮小」を避けることが、ケインズ政策の目的の第一義的なものなのである。」

と述べている。

2 .

池田教授は、岩本(1999)<sup>1</sup>の議論が新古典派的な立場からケインズ的政策を批判しているものと誤解しているように見受けられる。しかし池田教授の引用した部分において筆者が

---

<sup>1</sup>岩本他(1999)は共著書であるが、各章が分担執筆されているので、筆者(岩本)は第2章のみに責任がある。以下、本稿で議論するのは、筆者執筆部分の第2章に関わる部分のみである。

意図したのは、その直前に記述してある「景気対策がつねに公共事業となってしまうのは、標準的なマクロモデルが経済の部門間の違いを考慮しない一部門モデルであるという理由も少なからず貢献している」(岩本他, 1999, 81 頁)ことをくわしく説明することである。

岩本(1999)では景気循環を市場の失敗としてとらえるという考え方を重視しているように、すべてを市場にまかせる立場からケインズ政策を批判するという議論をするはずもない。上記引用箇所でもその意図がないことは岩本(1999)の 80～81 頁の記述からも明確である。

筆者の問題意識は、マクロでの総需要が不足していて、なおかつ生産要素の部門間移動が円滑でない状態でどのような政策をなすべきかということである。岩本(1999)では明示的に示されていないが、暗黙の解答は、女子大生に対してなすべきことは、彼女らが就業できる市場での雇用機会を創出することである。

しかしながら、池田教授はこのような問題意識を理解しておられないか軽視しており、「たとえ生産要素の部門間の移動がスムーズに進んでも解消できないような、経済全体での需要不足が生じている」(池田, 2001, 375 頁)状態のみが念頭にあるようである。実際には、このような考えに部門間移動の困難さを加味した上で政策の処方箋を書く重要性を訴えることが、筆者の議論の目的だったのである。

### 3 .

以上から、池田教授の岩本(1999)への批判は的を射たものとはなっていない。むしろ皮肉なのは、岩本(1999)の議論を誤解して批判の論陣を張ったために、結果として池田教授の論旨自体が岩本(1999)が批判したかった対象となってしまったことである。

ただし、池田教授の誤解を招いたという点では、岩本(1999)の「ケインズ政策への批判はミスリーディングである」という池田教授の指摘は正しい部分がある。誤解を生むことのない、明解な文章を書くことの重要性を教えていただいたことには感謝の意を表したい。

### 参考文献

池田毅(2001),「マクロ経済政策における『新古典派对ケインジアン』:近年のケインズ政策批判についての一考察」,九州大学大学院経済学研究院政策評価研究会編『政策分析 2000』,九州大学出版会,367-384 頁。

岩本康志(1999),「財政政策:景気対策の再構築」,岩本他(1999),49-106 頁。

岩本康志・大竹文雄・齊藤誠・二神孝一(1999),『経済政策とマクロ経済学』,日本経済新聞社。